

5

ごみとわたしたち

奈良市のごみの量

奈良市で1年間に出されるごみの量
(平成25年度)

やく まん
約10万3,000トン



? 10万3,000トンとは?

たいいくかん
体育館
(25m×20m×10m)



× 103杯分

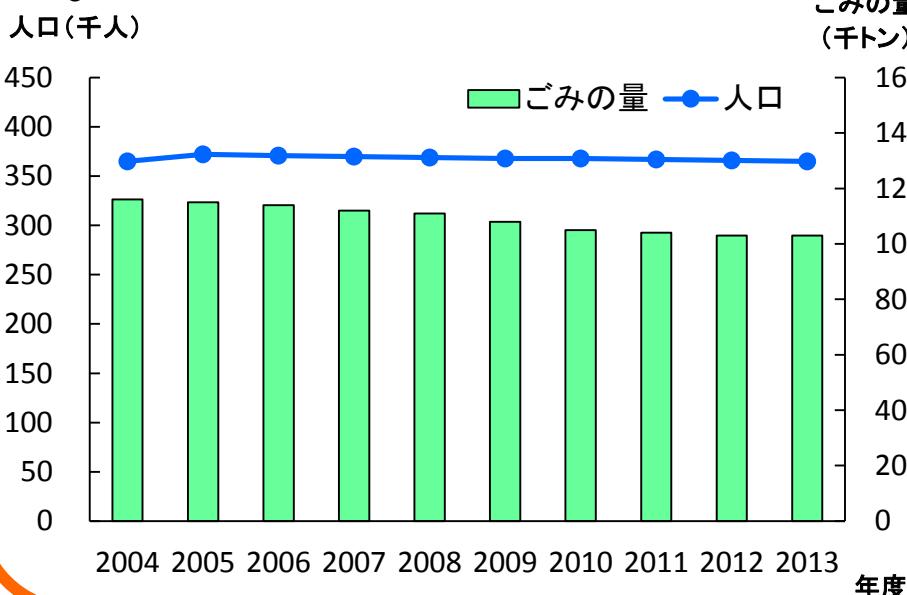
※(ごみの量 1m³当たり0.2トン換算)

にち だ
1日に出される
ごみの量は
やく 約280トン

このうち、家庭から出るごみは約60%



ごみの量の変化



じんこう
人口はあまり変わらないけど、ごみの量は少しずつ減ってるね！



奈良市について

水質の汚濁

大気汚染

地球温暖化

ごみとわたしたち

もんだい ごみの問題について

奈良市について

水質の汚濁

大気汚染

地球温暖化

ごみとわたしたち

家庭から出たごみのうち、「燃やせるごみ」は焼却され、「燃やせないごみ」はうめ立てられ、ペットボトルなどの「資源ごみ」はリサイクルされます。しかし、ごみをうめ立てる場所はだんだん減っており、このままのペースでいくとうめ立てる場所がなくなってしまいます。

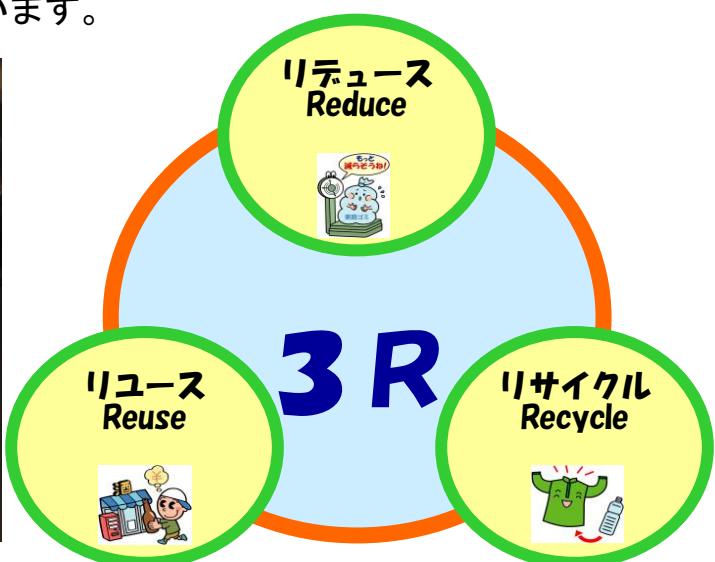
また、ごみを燃やす場合も二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因になります。したがって、ごみの量を減らすことが求められています。

ごみを減らすためにわたしたちができること

わたしたちがごみをごみにしない生活をするためには、ごみを減らす「リデュース(Reduce)」、くり返し使う「リユース(Reuse)」、資源として再生利用する「リサイクル(Recycle)」という3つの行動が大切です。3つの頭文字が「R」なので、3R(スリーアール)と呼ばれます。

3Rの中では「リデュース」が一番重要であり、「不要なものは買わない」、「残さずごはんを食べる」ことなどによってごみを減らすことができます。

リユースの推進の一環として、市役所の売店でリユース瓶入り大和茶「と、わ(ToWA)」を販売しています。



循環型社会へ

これまで、わたしたちは大量にものをつくり、大量に消費し、大量に捨てるという生活をしてきました。しかし、資源には限りがあり、このまま使っていくとなくなってしまい、ごみばかりがたまっていきます。

このような社会を見直し、これからは自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを大切に使い、ごみを最小限に抑える必要があります。そのような社会を「循環型社会」と呼んでいます。

循環型社会をつくるためには、3Rを実践していくことが重要になります。奈良市ではガラスびんやペットボトルなどのごみを回収し、再資源化（リサイクル）しています。

奈良市について

水質の汚濁

大気汚染

地球温暖化

ごみと
わたし
たち

使用済みの小型家電の回収

小型家電ってどんなもの？

携帯電話、デジタルカメラ、携帯型ゲーム機など

※回収ボックスの投入口（35cm×20cm）に入るものに限る。



回収できるものについては、奈良市のホームページなどで確認してね！

資源を有効に再利用するため、平成26年7月1日から、使用済みの携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電を回収し、これらに含まれる金や銅などの貴重な金属をリサイクルしています。

市役所などの公共施設に小型家電の回収ボックスがあるので、みんなもリサイクルに協力しましょう。



回収ボックス

奈良市の再生資源のゆくえ

分 別

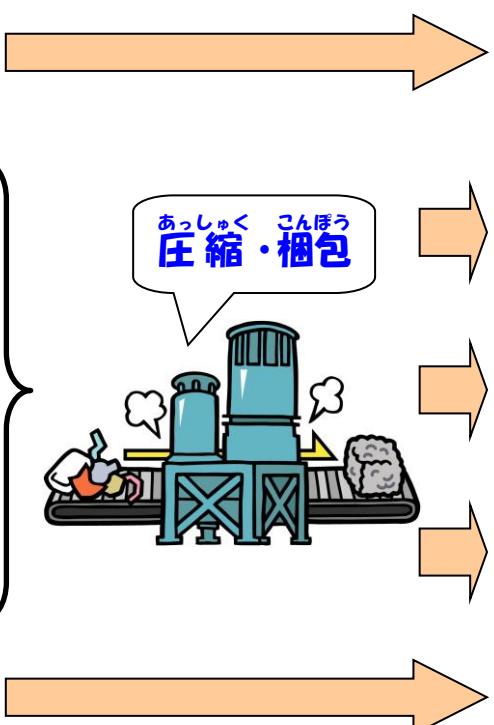
奈良市について

水質の汚濁

大気汚染

地球温暖化

ごみとわたしたち



リサイクル事業者

どんなものにリサイクルされるの？



ガラスびん



無色、茶色びん→ガラスびん
その他びん→道路の材料など



ペットボトル



ポリエステル繊維、卵のパックなど



プラスチック製容器包装



パレット、再生樹脂



空き缶 (アルミ缶・スチール缶)



アルミ缶→アルミ製品
スチール缶→鉄製品



飲料用紙パック



トイレットペーパーなど